葦毛崎展望台

葦毛崎展望台は、葦毛崎に立つ岩のような建物で、海拔 22 メートルの険しい崖の上から種差海岸を見下ろしています。展望台の周りに広がるなだらかな草原は、かつては馬の放牧地として利用されており、この地域の葦毛崎という呼び名は当時この場所を歩き回っていた葦毛（灰色の毛）の馬にちなんでつけられました。

葦毛崎からは太平洋とみちのく潮風トレイルの八戸ルートのパノラマ景観が望めます。この展望台は、江戸時代（1603-1867）には外国船の動向を監視するための見張り台として、そして第二次世界大戦中は防空レーダーを備えた海軍の無線基地として使われていました。この地域は海から流れてきた霧に覆われることも珍しくありませんが、晴れた日には北は下北半島、西は八甲田山系まで見晴らすことができます。また、ここからは南東にそびえる階上岳も見えます。近くにある白亜の建物は、1938年に建てられ、現在でも使用されている鯨角灯台です。

暖かい時期には、草地のあちらこちらに黄色のゼンテイカ (*Hemerocallis middendorffii*) や紫色のノハナショウブ (*Iris ensata* Thunb. var. *spontanea*) が花を咲かせます。夏には、駐車場に隣接するカフェ「ホロンバイル」でアイスクリームを購入できます。

葦毛崎展望台から続く道を進むと、中須賀に到着します。